

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165



さくららんぼ つややかに

葉の影にさくららんぼが
つややかに輝いています。

まさにくだもの
の宝石。ひとつ、ふたつ、夏の味覚が広がりました。

こどものように
種を飛ばす空も
また、輝いていま
した。

名歌

音もせて思ひに燃ゆる
螢こそ鳴く虫よりも
あはれなりけれ
後拾遺和歌集

ほたる



げんじぼたる
体長 12~18mm

卵から成虫に約1年かかる
成虫は10~15日間いきる

へいけぼたる
体長 7~10mm

※日本産15種



谷内六郎『たもとの中』一九七八年

季節のことば 七十二候より



梅子黄
うめのみきばむ

黄色く、
色づいた完熟梅が
梅干しづくりに
最適。

※カゼ
疲労回復

風物詩...

日常の喧騒を忘れて。



漁解禁

ヤマメ・イwana...

釣って焼いて楽しく



溪流釣り

思い出の名画



1958年
天使の歌声が響く

ユ一モアくらぶ
男は痛みに医者に
助けを求めた。
「うむ...」
このクスリで大丈夫
だ。安心しなさい
とても安心など
できなかった。
渡されたクスリは
生理痛のものだった。

天声珍語
衣替え、
もう、
そんな季節、
「おしやれ
してみよかな」
銀座のウィンド
を覗く。
どれも
「ステキ」
セミの羽のよう
に薄い服を着
て、
びっくりさせて
やろうかしら
でも、
この体形では
とても無理ね、
あの服もいいわ
私に似合いそう
値札の楕が
遠うけれど。
銀座は
たそがれて
帰りに
しまむらに
寄って
この夏に備え
た。
ススム